



今月の

大槌とびと

### おらが大槌夢広場のみなさん

4月から文化交流センターおしゃつちの管理・運営を一般社団法人おらが大槌夢広場の皆さんが行っています。今月はその中から代表の神谷 未生さん、管理・運営の統括、生利望さん、図書館司書の紺野 眞美子さんにお話しを伺いました。



左から神谷未生さん、生利望さん、紺野眞美子さん

#### 「居場所」をつくる

◇神谷さん

おしゃつちは私達が管理・運営する前から町民のみなさんから愛されていて、そういう施設を引き継いだという思いがあります。いままでの「利用しやすさ・快適さ」を大事にしながら、利用したことがない人たちにも「おしゃつち」の魅力を伝えられるような働きかけをしています。と思います。

「おしゃつち」は、勉強や仕事のために利用してもらうのはもちろん、特別な用事がなくても何となくいられて快適に過ごせる「居場所」です。

◇生利さん

神谷さんに声をかけてもらって、「おしゃつち」の統括管理をしています。神谷さんの「より良い居場所にしたい」という思いを知り、力になりたいと思いました。実際に働いてみると、

ここが本当に多くの方から愛されていることを実感します。町の中に誰もが快適に過ごすことができる、こういった居場所が一つでも多くできるよう、まずは「おしゃつち」が見本となるように心がけていきたいですね。

◇紺野さん

おしゃつちの中にある図書館は開放的で木のぬくもりを感じることが出来ます。利用者さんから「とても居心地が良く、夕方までいてしまった」という言葉をかけられたときは、快適な空間を提供できているんだと実感したし、とても幸せな気持ちになりました。

私は震災前大町にあった図書館でも働いていて、その時の図書館も今の図書館も大好きな場所です。まだ利用したことない人はぜひ一度足を運んでください。

#### これからの「おしゃつち」

◇神谷さん

当然のことですが「おしゃつち」は「町民皆さん」のための場所で、私達は皆さんがより快適で安心して利用できるよう管理・運営していきます。これからも皆さんの「居場所」になることはもちろん、例えば「イベントを開催したい」という時も、ここを最大限活用しながら開催できる方法を一緒に考えることもできますので是非ご相談ください。